

ほたる散歩

# ほたる祭り

ふえふきの「ほたる」を見に行こう。

四ッ沢川の河川敷に沿って広がる四ッ沢川砂防公園には、全長約一キロメートルのほたる水路が整備されています。環境保全の取り組みもあり、公園内には植物や昆虫類も多く見られます。夜になると園内のほたる水路や四ッ沢川の葦の上でほたるが飛び交います。

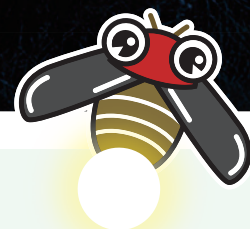
期間：6月第2週(土)～3週(日)(20時～21時が見頃)

会場：笛吹市八代ふるさと公園横の四ッ沢川砂防公園 住所：山梨県笛吹市八代町岡2223-1

駐車場：リニア展望台駐車場 ※大型車(バスなど)は八代ふるさと公園駐車場をご利用ください。

主催：稲山ほたる銀河の会 共催：八代町観光協会

問い合わせ：(一社) 笛吹市観光物産連盟 TEL 055-261-2829



## 注意点

- リニア展望台からゆるやかな下り坂を降りたら、懐中電灯を消しましょう。
- 所々足元に葦ランプが灯っていますが、歩行中は転ばないように気を付けましょう。
- フラッシュ撮影はご遠慮ください。
- たくさんの方がほたるを見学しています。譲り合いのマナーにご協力ください。



# ほたるについて

## ほたるの種類

水生ホタルと陸生ホタルに分類されます。水生ホタルは一生のうちのほとんどを水の中で暮らします。その代表が、ゲンジボタルとヘイケボタルです。四ッ沢川砂防公園のほたるは、ゲンジボタルです。

## ほたるの一生

### 産卵

6月中旬～下旬

交尾を終えた雌は4～5日後に川岸のコケに産卵を始めます。1匹の雌で500～800個の産卵をします。この中から成虫まで生きるほたるは、1割にも満たないと言われています。



### 孵化

6月下旬～7月下旬

産卵後、約30日ほどで卵から孵(かえ)り、一番長い幼虫期に入ります。



### 幼虫

7月下旬～4月上旬

幼虫になると8～9ヶ月間を水中で生活します。夜行性のため日中は石の下に隠れ、夜になると餌(「カワナナ」という巻貝の一種)を求め石の下から出てきます。



### 蛹

4月上旬～6月上旬

4月頃になると水中から陸地へ上がり、柔らかい土に潜り蛹になります。蛹の状態でも光を放ちます。そして、40～50日間を土の中で過ごし、6月上旬になると成虫となります。



### 成虫

6月上旬

蛹のときの体長は2～3cmですが、成虫時には雌の場合で、1.5～1.8cmとなります。また、成虫すると水の補給しかしません。



### 交尾

6月上旬～中旬

成虫したほたるは飛べるように羽を整え、2～3日経過すると土から出て求愛行動(交尾)を行います。求愛行動は5～10日間行われ、交尾を終えると雌は産卵し、その一生を終えます。



### ほたる水路

## ほたる散策コースmap

**行動時間目安**

① 10分 → ② 5分 → ③ 5分 → ④ 5分 → ⑤ 5分 → ⑥ 10分 → ⑦ 10分 → ② 10分 → ①

ほたるは③から見られ、⑤が一番多く見られます。